

簡易電気柵「獣塀くんライト」の開発

【特徴】安価・低労力・高い効果を発揮する柵「獣塀くんライト」を開発した。この柵はハクビシンからサルまで多獣種に対応し、広く普及している。

【活用が見込まれる分野】
農林水産物の鳥獣類被害対策

実用化実績 : 有
現 状 : 普及段階

【成果】

単価 180円/mと従来の多獣種型柵コストを80%削減。

【内 容】

○一般的な方法

電線を複数設置することにより侵入防止を図るが、線と線の隙間から動物が侵入し十分な効果が得られなかった。

○本手法

電線と防鳥網を組み合わせることにより擬似的に面で守る。この方法により非常に高い効果を得た。

○侵入防止効果

柵を5カ所に設置し、自動撮影カメラで柵の内外を撮影。柵の外で1158回撮影、柵の内側で5回のみ撮影。ハクビシン、シカ、イノシシ、サル等に対し99%以上の効果を確認した。

○普及状況

柵の作り方に関する講習会を毎年度開催し、H28年度末現在で71回となる。うち峡南普及センター指導の柵設置圃場は26カ所となる。



柵の概観 農業用資材を支柱に用いて低コスト化



防鳥ネットを併用することで高い効果が得られる。